

科目名		血液学	教員名	佐藤 宜伯	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		血液の形態学では、その形態学的特徴を把握するだけではなく血液の成分と機能および白血球や赤血球の産生や崩壊、それらの血球の正常値と生理学的変動について学ぶ。また生体色素であるヘモグロビンの構造・産生・鉄代謝・DNA合成についても学ぶ。さらに血液疾患診断や治療に貢献できる基礎を習得する。血液凝固学では、止血が血管・血小板・凝固因子・線溶因子など様々な物質が共同して成り立っていることを学ぶ。また止血に異常をきたす疾患とその関連性についても学ぶ。							
目的・目標		目的:臨床工学技士として血液疾患診断や治療に貢献できるよう血液学の基礎および血液関連疾患について総合的に理解する。 目標:①血液学の血液形態学、血液凝固学の基礎知識が理解できる。 ②血液疾患についての基礎的な知識が理解できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	造血器の構造と機能 - 1		到達目標:血液の基礎、造血組織の構造を理解する。 学習内容:血液の基礎、造血組織の構造について学修する。					
	2	造血器の構造と機能 - 2		到達目標:骨髄の造血機構を理解する。 学習内容:骨髄の造血機構について学修する。					
	3	造血器の構造と機能 - 3		到達目標:血球の形態と機能を理解する。 学習内容:血球(生体色素であるヘモグロビン含む)の形態と機能について学修する。					
	4	造血器の構造と機能 - 4		到達目標:リンパ節、胸腺の構造と機能を理解する。 学習内容:リンパ節、胸腺の構造と機能について学修する。					
	5	造血器の構造と機能 - 5		到達目標:脾臓の構造と機能を理解する。 学習内容:脾臓の構造と機能について学修する。					
	6	赤血球の疾患 - 1		到達目標:貧血症の分類を理解する。 学習内容:貧血症の分類について学修する。					
	7	赤血球の疾患 - 2		到達目標:鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血を理解する。 学習内容:鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血について学修する。					
	8	赤血球の疾患 - 3		到達目標:再生不良性貧血、赤芽球癆を理解する。 学習内容:再生不良性貧血、赤芽球癆について学修する。					
	9	赤血球の疾患 - 4		到達目標:溶血性貧血、多血症を理解する。 学習内容:溶血性貧血、多血症について学修する。					
	10	白血球の疾患 - 1		到達目標:白血病を理解する。 学習内容:白血病について学修する。					
	11	白血球の疾患 - 2		到達目標:リンパ増殖性疾患を理解する。 学習内容:リンパ増殖性疾患について学修する。					
	12	白血球の疾患 - 3		到達目標:骨髄繊維症を理解する。 学習内容:骨髄繊維症について学修する。					
	13	白血球の疾患 - 4		到達目標:白血球減少症と造血幹細胞移植を理解する。 学習内容:白血球減少症と造血幹細胞移植について学修する。					
	14	出血性素因 - 1		到達目標:血管異常と血小板異常症を理解する。 学習内容:血管異常と血小板異常症について学修する。					
15	出血性素因 - 2		到達目標:血液凝固異常症を理解する。 学習内容:血液凝固異常症について学修する。						
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)							
教科書		臨床工学講座 臨床医学総論(第2版)			篠原一彦等 著			医歯薬出版	
参考図書		臨床工学技士標準テキスト(第4版)			小野哲章			金原出版	
教員からのメッセージ		配布資料とスライドとで補足をしながら講義を行います。(教科書の該当する箇所ですべて予習をしてください) 病院で勤務した臨床工学技士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							